

自己評価結果公表シート(令和4年度)

学校法人 服部天神宮学園 服部幼稚園

1 本園の教育目標

「感謝の心とやる気を育てる」ことを教育の目標として、次の幼児像「敬神感謝の心を持ったあたたかい子ども・意欲を持って学習や遊びに参加する子ども・友だちと仲良くしてよい習慣を身につけていく子ども・まわりのことがらに関心をもち表現を豊かにする子ども」を掲げ、のびのびとした保育に取り組む。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・新型コロナウイルス感染症の流行の長期化を見据えて、感染予防対策を更に徹底しながら、子どもの育ちが豊かになるように保育内容の充実に努める。また、自然災害に対する備えや訓練を強化させる。
- ・コロナ禍で小学校と交流する機会が少なくなる中で、様々な手段で連携を図るように努める。また0歳児から2歳児の未就園児親子が参加できるプログラムを考え、子育てを支援する機会を充実させる。
- ・教職員間で子どもの発達の共通理解を深め、連携することによって、子どもたちが主体的に活動できるように環境構成の構築を図る。

3 評価項目と取組状況

評価項目	取り組み状況
安全衛生管理への更なる強化	新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中で、教職員が感染予防対策を更に徹底しながら、子どもの育ちが豊かになるように、話し合いを重ね、共通理解をし、保育内容の充実に努めた。 また、地球温暖化に伴う気温の上昇や自然災害に対する備えを強化し、また、訓練を年に複数回実施し、教職員の危機管理への意識を更に高めることができた。
小学校との連携と地域への開放	今年度も公開保育等の参加は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、実施できなかったが、地域の小学校との就学前の連絡会や、個別での訪問や、電話連絡等で就学前の情報交換をし、連携を図ることができた。 また、コロナ禍で交流の機会が少なく、子育てに不安を感じている保護者が少なくない中、0歳児から2歳児の未就園児親子が参加できるプログラムを考え、子育てを支援する機会を充実させた。
教職員間の連携と環境構成の構築	教職員間で各クラスの研究保育を通して子どもの発達 of 共通理解を深め、連携することができた。また、子どもたちが主体的に活動できるように行事や保育内容を教職員で話し合い、環境構成の構築を図ることができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、感染予防対策を徹底しながら、常に子どもの育ちを大切に考え、教職員が話し合う機会をできるだけ設けて、保育内容の充実や行事の見直しに努めた。ICTシステムを活用して保育の様子をクラスごとに毎月、動画配信したり、ホームページで保育内容を配信し、保護者や様々な人に園の保育を理解して頂く機会を充実させた。また、出欠等の連絡をシステムを利用することにより、教職員の業務の効率化を更に図ることができた。0歳から2歳の未就園児親子がコロナ禍で子育てに不安を感じることが少なくない中、できるだけ参加して頂けるプログラムを考え子育て支援に努めることができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
預かり保育の充実	預かり保育を利用数が年々増加する中、担当する教職員や保育室を充足し、縦割りでの保育を充実させ、子どもが安心して過ごせる環境構成を構築させる。
教職員の資質向上への取り組み	教職員の学びの機会を保障し、各々の課題を見出し、研修に参加し、専門性を高め、保育の充実に努める。
保育の可視化の更なる充実	ICTシステムを活用し、ドキュメンテーションで、保育内容を保護者の方に理解していただく機会を充実させる。

6 学校関係者評価

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、教職員が感染予防対策を徹底し、行事等を実施し、保育内容の充実に取り組んだことが評価される。また、ICTを活用して子どもの様子を発信し、園の保育内容の保護者理解を深めることや教職員の業務内容の効率化を図ることに努めていることも評価される。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。